【此花区】地域活性化支援事業にかかる受託者等の評価結果について（令和７年度）

1　「Ⅰ　地域課題への取組」にかかる支援の実績等

評価項目

・地域課題やニーズを把握し、これに対応するために安定継続的に活動が行われている

評価	左記の理由
B	地域活動協議会事業の円滑な運営を進めるため、各地域の会議やイベントに積極的に参加し、地域の方々と意思疎通を図るとともに、広報交流会の開催、広報紙の作成、SNS 運用支援に関する研修会の実施など、有効な支援が行われた。

2　「Ⅱ　つながりの拡充」にかかる支援の実績等

評価項目

・イベント等の取組に、これまで地域活動に関わりの薄かった住民の参加が促進され、地域住民同士のつながりが拡大している

・地域活動協議会を構成する活動主体同士や、地域活動協議会と他の活動主体との連携・協働が促進されている

評価	左記の理由
B	・地域活動における各種オンラインツールの利用を進めるための支援を行っていた。ただし、区内全域への普及には更なる取組みの継続が必要とされる。 ・他区から講師を招いた広報交流会の開催や、地域行事へのボランティア参加を専門学校生に呼びかけるなど、新たな取組みも見られた。

3　「Ⅲ　組織運営」にかかる支援の実績等

評価項目

・民主的で開かれた組織運営と会計の透明性が確保されている

評価	左記の理由
B	会計説明会の開催や、日常的な相談・問い合わせへの対応に加え、会計経験の少ない方々に対しても懇切丁寧な支援を行っていた。また、会計処理の適正化と透明性の維持・向上を意識し、継続的かつ適切な支援が行われた。

4　「Ⅳ　区独自取組」にかかる支援の実績等

評価項目

・地域の現状を熟知し、その状況に即した支援が行われている

評価	左記の理由
B	各地域の会議やイベント等に積極的に参加し、地域の方々との意思疎通を図ることで、地域のニーズや課題の把握に努めていた。また、各地域の代表者が参加する広報交流会を開催し、地域間の情報共有や交流を促進したことは、評価できる取組みであった。

5　総合評価

評価	左記の理由
B	提案された事業内容に対する取組みが十分とはいえず、地域からも期待していた支援が得られていないとの意見が聞かれるなど、課題が残る結果となったが、ふれあい喫茶等と併催したスマホ相談会の実施、他区から講師を招いた広報交流会の開催、専門学校生へ働きかけ地域行事へのボランティア参加を促すなどの取組みを展開したことは評価できる。

（評価基準）

S：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。

A：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を上回っている。

B：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準に概ね達している。

C：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を下回っている。